

昭和三十年 度

国文学科卒業論文題目

「好色一代男」文末語の研究

安達イサヲ

二葉亭の創作とその中絶について

道津 房子

有島武郎論

江口 泰子

古事記に於ける「御」の用法について

福永 尚子

古事記における補助動詞「たまふ」について

福島左千子

西鶴の作品に描かれた女性

古川 澄香

記紀歌謡における民謡性

橋本 諄子

宗祇の連歌論について

比留木 富子

春雨物語の研究

今崎 イツ子

西行の伝説と歌

河合 昌子

狂言の語法 — 代名詞について —

片田 豊子

樋口一葉作品研究 — 人生态度の移行を中心として —

加納 京子

源氏物語における和歌挿入の意義

河原 芙美枝

枕詞の研究 — 記紀時代を中心として —

て —

熊谷 満規子

逍遙の文学 — 「小説神髓」と「三歌」

古賀 孝子

御伽草子「三人法師」の研究

牧瀬 節子

西鶴の人物における喜劇性 — 「世間胸算用」の笑いを中心として —

松木 テルエ

明治初期文体論 (明治三十年迄)

松本 真子

支考の徒然草観

馬渡 良子

源氏物語のものあわれについて

光川 紋子

西鶴諸国咄研究

松元 喜佐子

泉鏡花研究 — 「高野聖」を中心として —

松島 企太子

芥川龍之介の詩について

三苦 瑞枝

お伽草子の研究

森 千代子

判官物の展開について

森 実明実

道綱母の自画像

森 田麗子

上代に於ける係助詞「ぞ」の研究

村田 光子

上代に於ける接頭語の研究

中島 和子

俳諧七部集における助詞の研究

長沢 節子

近松の浄瑠璃の戯曲的研究 — 特に世話物について —

中村 友子

蜻蛉日記に現われた作者の自我意識

長尾 末子

物狂いの謡曲について

中園 昭子

狂言記における敬讓表現について

西村 信子

「自然と人生」の比較文学的研究

坂本 知寿子

平家物語小論

重田 宏子

近松管見 — その描かれたる「親」について —

角田 泰子

文学史上における「我が身にたどる姫君」

高尾 彩子

上代における接尾語の研究

竹中 八寿子

大伴家持の枕詞研究

戸江 道子

近松の研究

往田 昌子

無名草子の女性評論

余 悟統子

西鶴の好色物に於ける美

吉田 弘子

近松の描いた人物 — 世話物について

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

近松の描いた人物

て

戦闘描写の変遷

吉本和枝
高橋喜代子

国語学史
国語学特講

古田助教

主任には北西教授が互選された。

今昔物語集 本朝仏法部の研究

鶴田房子

文語文法特講
国語学演習

古田助教

井手教授 四月以来病氣療養中であるが、快方に向われている。

西鶴「五人女」研究

岩見順子

古典解釈のための文法

古田助教

蕪村研究 — ロマンチズムにおける近代性

近藤志織

言語学概論

北西教授

中国文学

昭和三十一年度
国文学科講義題目

国文学

中国古典

米田教授

米田教授

論語

古事記講読

倉野教授

孟子

米田教授

伊勢物語講読

倉野教授

東洋史

竹内講師

西鶴講読

北西教授

書道

河原講師

日本文学史

井手教授

特別研究

小森講師

源氏物語講読

目加田助教

北西教授

北西教授

枕草子講読

目加田助教

倉野教授

倉野教授

国文学特講

井手教授

文学部長に倉野教授

井手教授

中世の説話

目加田助教

文学部長改選の結果、倉野教授当選、四月一日付で発令された。

目加田助教

物語の研究

井手教授

国文学科主任に北西教授

目加田助教

国文学演習

倉野教授

文学部長改選の結果、倉野教授当選、四月一日付で発令された。

古田助教

万葉集卷十五

井手教授

午後は記念講演会にうつり、左の様に、

古田助教

徒然草

倉野教授

午後

古田助教

国語学

倉野教授

午後

古田助教

国語学

倉野教授

午後

古田助教

国語学

倉野教授

午後

古田助教

国語学

倉野教授

午後

古田助教

消息

福岡女子大学国文学会発足

多年の懸案であつた福岡女子大学国文学会が遂に誕生し、その発会式が、初夏の風さわやかにそよぐ四月二十二日、福岡女子大学の階段教室で開かれた。出席者は、文学部長倉野憲司博士、国文学科主任北西鶴太郎教授をはじめ、教官、学生、卒業生等、二百名を超える盛況であつた。

会は、午前十一時より総会に入り、経過報告、規約審議等の後、倉野憲司博士を会長に推すことを満場一致で可決、事業計画については、目加田助教から詳細な説明がなされ、会誌の性格も、学術研究を主体とすることを決議した。

午後

両教授の蘊蓄をかたむけられた講演があつて聴衆に多大の感銘を与えた。

万葉集類歌小見 倉野憲司教授

近松の一手法

―長者教の場合― 北西鶴太郎教授

また倉野博士は、特にこの会の発足を祝して、左の歌をよせられた。

福岡女子大学国文学会の発会に寄す

倉野憲司

一、遠きむかしの 大后

万葉人も あととめて

名こそ著けれ 香椎はや

ここに集ひて 国つ文

学ぶをとめの 幸や知る

二、自由の衣 ひるがへし

をとめさびする この集ひ

瞳明るく むつまじく

いざもろともに おり立ちて

玉藻刈らばや 香椎瀉

なお、機関誌は、会長の提案によつて、

古文芸に關係の深いこの土地にちなみ、誌

名を「香椎瀉」と決定、九月頃創刊の予定である。

古典樹苑見学

新しく発足した国文学会の最初の行事と

して、五月五日山口県人丸の古典樹苑見学旅行が行われた。北西教授、古田助教引率のもとに、国文学科卒業生、在学生を中心とし、なお他学科の学生も加えた約五十名の多数が参加し盛会であつた。人丸駅では人丸神社高山宮司の出迎えを受け、同社境内の古典樹苑に案内された。北西教授から見学上の諸注意があつた後に、同教授の解説を聴きながら百数十本の古典関係植物の見学を行つた。当日は小雨もあつたが、参加者一同終始熱心に見学し、有意義で楽しい一日を送つた。

受贈図書雑誌

文部省編 進学適性検査報告

第一分冊、第四分冊、 編者

中国の現代国画 北京図書館

開国百年記念文化事業会編 明治文化史

第一巻、第三巻、第十巻、第十一巻 編者

同会編 日米文化交渉史

第一巻、第五巻 編者

福岡県文化財調査報告書 第二分冊の一

第二分冊の二 福岡県教育委員会

グイーウイント 朝鮮動乱回顧録

奥田讓氏

パートランド・ラッセル 民主政治是か

非か 奥田讓氏

倉野憲司著 古事記(アテネ文庫)著者

近松学会編 近松浄瑠璃本書目第一

大阪府立図書館

劉百閣外著 中日文化論集

中華民国大使館

石井満著 アメリカ文学遊覧

福岡アメリカ文化センター

木下順二著 夕鶴

河瀬嘉一氏

同著 三角帽子

同氏

梅崎春生著 日の果て

同氏

同著 桜島

同氏

木下順二訳 オセロウ

同氏

片岡貢著 ソ連対日外交の分析

民主日本協会

文部省大学学術局編 学位録

編者

安川敬一郎著 論語俚解

筑紫史談会

木村健康著 アメリカ的思惟の展開

アメリカ研究セミナー

文部省大学学術局編 学術文献綜合

編者

目録―欧文言語篇―

編者

永富撫松著 訳春及盧詩藁

鹿島守之助氏

今田哲夫訳 註

天理大学図書館編

天理大学図書館

洋書目録 1、2

編者

幣原平和財団編 幣原喜重郎

編者

馬場重徳著 雑誌記事索引奉仕概説

宮崎大学図書館

Y・R・シモン 民主政治の原理

福岡アメリカ文化センター

東京芸術大学編 東京芸術大学蔵品

目録 近代西洋画 編者

朝日新聞社編 宗教都市 天理 天理図書館

九州総合文化研究所編 太宰府史料

上世編 第九分冊 第十分冊 編者

魚澄惣五郎著 芦屋市史 史料編第一

芦屋市教育委員会

ヘルツォグ 戦争と正義 上智大学

ピオヴェザーナ 現代ソヴェト史的

唯物論 同

福岡県編 福岡県年鑑 一九五六 編者

やどりぎ短歌会 やどりぎ 昭二九、

九ノ昭三一、四 倉野憲司氏

歌と評論社 歌と評論 昭二一、九

〜昭三〇、一二 同 氏

時枝誠記著 日本文法 文語篇 古田東朔氏

横山正著 文耕堂浄瑠璃の趣向 (別刷) 大阪学芸大学

渋谷虎雄著 玉葉和歌集中の万葉歌

について 上 (別刷) 同

春日政治著 古訓雜記 (別刷) 著者

村井董直著 日本文学者年表 著者

論集 第Ⅱ巻 第Ⅰ号 東京女子大学学会

佐賀龍谷学会紀要 第三号

人文研究 第Ⅳ集 神奈川大学人文学会

学苑 昭和三十一年 一月号〜四月号

昭和女子大学光葉会

民間放送 第6巻 第1号〜第3号

日本民間放送連盟

紀要 第四輯 日本大学教養部

アカデミア Ⅹ 南山大学南山学会

二つの世界 2 二つの世界社

世の動き 1〜4号 外務省情報局

麗沢短期大学研究叢書 3、4

麗沢短期大学

研究報告 第五輯 人文科学

愛知学芸大学附属図書館

アメリカーナ 第二巻 第一〜三号

米国大使館文化交流局

研究 哲学篇 第九号 神戸大学文学会

比較文化 ZON 比較文化研究所

国学院雑誌 第五六巻第五号 国学院大学

同 第五七巻第一号 同

山口女子短期大学研究報告 第五号

山口女子短期大学

独逸文学研究報告 第四号

京都大学教養部独逸語研究室

学苑 創立三五周年記念号

昭和女子大学光葉会

愛知学院大学論叢 第三巻 愛知学院大学

糸島文林 第四号 糸島高等学校

英文学 一研究と鑑賞 一 第十一号

早稲田大学図書館

滋賀大学学芸学部紀要 人文科学

第五号 滋賀大学学芸学部

福井大学学芸学部紀要 第Ⅲ部 第五号

福井大学学芸学部

同 第1部 第五号 同

教育福岡 第七七〜七九号

福岡県教育委員会

研究年報 第3号 帝塚山学院短期大学

法政研究 第二三巻 第一〜二号

九州大学法政学会

研究紀要 第六巻

福岡学芸大学久留米分校教育研究部

北九州大学論文集 第四輯 北九州大学

文学紀要 第五号

富山大学文学部文学科

福岡商大論叢 第6巻 第3号

福岡商大研究所

- 紀要 第6輯 愛知県立女子短期大学
- 紀要 第6号 鹿児島県立大学短期大学部
- 紀要 相模女子大学学術研究会
- 文学研究 第五二、四輯 九州文学会
- 京都女子大学紀要 12
- 京都女子大学文学部
- 産業経済研究 第3号
- 久留米大学産業経済研究所
- 論集 第2巻 第3号
- 神戸女学院大学研究所
- 研究集録 第2号 岡山大学教育学部
- 美作短期大学研究紀要 第3号
- 美作短期大学
- 山口大学文学会志 第七巻 第1号
- 山口大学文学会
- 史淵 第六五、六八輯 九州史学会
- 紀要 第四号 金沢大学教育学部
- 紀要 第五輯 青山学院女子短期大学
- 学術研究報告 第三巻
- 高知大学附属図書館
- 愛媛大学紀要 第一部
- 人文科学 第二巻 第1号 愛媛大学
- 同 第四部
- 社会科学 第二巻 第1号 同
- 同 第五部
- 教育科学 第二巻 第1号 同
- 紀要 第二巻 比較文化研究所
- 山口女子短期大学研究報告 第六号
- 山口女子短期大学
- 研究集録 人文、社会科学 第四輯
- 大阪大学北校
- 論集 第Ⅵ巻 第2号 東京女子大学学会
- 紀要 第一集 神戸山手女子短期大学
- 歌と評論 四、五月号 倉野憲司氏
- やどりぎ 五月号 同 氏
- 大倉山論集 第五輯
- 大倉山文化科学研究所
- 研究紀要 第2号 西南女学院短期大学
- 東北大学文学部研究年報 第六号
- 東北大学文学部
- 日本文学 第六号
- 日本女子大学日本文学研究会
- 人文研究 *Notes* 神奈川大学人文学会
- 論 攷 第2号 関西学院大学
- 思想の分析 *Notes* 東京文科研究所
- 熊本短大論集 第十二号 熊本短期大学
- 山辺道 創刊号、第二号
- 天理大学国文学研究室
- 清泉女子大学紀要 2 清泉女子大学
- 語文研究 第二、三号 九大国文学会
- 論集 I 名古屋大学国文学研究室
- 国文学 (4) 愛知大学国文学研究会
- 国文学攷 第十四号
- 国文学 第一、二、四号 広島大学国語国文学会
- 国文 第一、二、四号
- お茶の水女子大学国語国文学会
- 人文科学科紀要 第七輯
- 国文学、漢文学 Ⅱ
- 東京大学教養学部人文学科
- 国語研究 第三号、第四号
- 国学院大学国語研究会
- 中国文芸座談会 *Notes*
- 九大中国文芸座談会
- 北海道大学文学部紀要 4
- 北海道大学文学部
- 解釈 第一巻 第二、三、五、七、八号
- 解釈学会
- 同 第二巻 第一、四号 同
- 日本女子大学紀要 第四輯 日本女子大学
- 不知火 第九号
- 熊本大学教育学部国文学会
- 国文学研究 第十二、三輯
- 早稲田大学国文学会
- 高知大学学術研究報告 第3巻
- 第23号 高知大学
- 紀要 第四輯 青山学院女子短期大学

金沢大学法文学部論集

文学篇 2、3

金沢大学法文学部

跡見学園紀要 第二

跡見学園短期大学

国文研究 創刊号

熊本女子大学国文研究部

成城文芸 第五、六号 成城大学文芸学部

愛知大学文学論叢 第十一輯

愛知大学文学会

肇国 十二月号、一月号 肇国神祇連盟

実践女子大学紀要 第四集 実践女子大学

女子大國文 第三号

京都女子大学国文学会

学習院大学国語国文学会誌 第一号

学習院大学国語国文学研究室

跡見学園国語科紀要 4

跡見学園国語科研究会

甲南大学文学会論集 3 甲南大学文学会

人文学報 第十三号

東京都立大学国語国文学研究室

文学論輯 第三号

九州大学分校文学研究会

女子大文学 第八号

大阪女子大学国文学研究室

国文学 第十五号 関西大学国文学研究室

和歌文学研究 創刊号 和歌文学会

国文学 第一卷 第一号 学燈社

(昭三一・五・九 現在)

昭和三十一年六月二十五日印刷
昭和三十一年七月一日發行

文芸と思想 第十二号

福岡女子大学文学部

編輯者 国文学研究室

代表 北西鶴太郎

福岡市(香椎局区内)浜男

発行者 福岡女子大学文学部

印刷者 中井寅雄

福岡市築石町四番地の一一
印刷所 大丸印刷株式会社